

大鹿村中央構造線博物館たより 76号



月・火曜日休館

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@oskjanis.or.jp

— 講演会のお知らせ —

① 「南アルプスは高くなっているか」

② 「GPSでわかってきたこと」

- 日時：2015年11月21日（土）13：30～15：30
- 場所：大鹿村交流センター

聴講無料・申込不要！

- 講師：さぎや たけし 鷺谷 威 さん（名古屋大学教授、元・国土地理院）

～ 2015年夏のイベント報告 ～

今年8月～9月初めに中央構造線博物館で行われた、講座やツアーをご紹介します。

8月17日（月）「ジオパーク初級講座」

大鹿小学校の学童保育の児童を対象に、講座を開催しました。館内見学のほか、酸性の洗剤をかけた時の反応から石灰岩とチャートという岩石の違いを確かめる実験や、顕微鏡による岩石の薄片の観察などを行いました。



8月22日（土）～23日（日）「大鹿村ジオツアー」

大鹿村内の露頭や博物館を見学し、中央構造線や南アルプスの地形・地質について学ぶ、1泊2日のツアーを開催しました。（詳細は裏面の記事にて）

9月1日（火）「南アルプスジオパークガイド養成講座」

伊那市を中心に開催している、ジオパークガイド養成講座の内の1回として、大鹿村にて現地研修を実施しました。主に伊那市から、講座の受講生と認定ガイドの方が参加されました。安康露頭と北川露頭を見学し、博物館にて展示の解説や講義を行いました。

「大鹿村ジオツアー」を開催しました！

8月22日（土）～23日（日）、大鹿村内の露頭や博物館を見学し、中央構造線や南アルプスの地形・地質について学ぶツアーを開催しました。全行程への参加者は県外から12名でしたが、1日目のみ大鹿から2名、2日目のみ長野市から1名参加で、合計15名の方が参加して下さいました。愛知県からの参加が多く、そのほか神奈川県や埼玉県、岡山県から来て下さった方もおられました。

1日目は中央構造線 安康露頭と博物館を見学しました。安康露頭は天然記念物で採取禁止のため、今回は範囲外の河原で石拾いを行いました。石拾いというと子ども向けのイメージがありますが、石の違いを学びながら、大人でも十分に楽しんでもらえたようです。



石拾いの様子（安康露頭より下流にて）

2日目は福德寺、夕立神展望台、大西公園、塩の里などを巡りました。

夕立神展望台では、南アルプスの稜線に雲がかかってしまい、残念ながらはっきりと確認することはできませんでした。ただ、上から地形を見下ろすことで、小渋川上流や伊那谷の地形を観察することができました。



南アルプスや小渋川上流の谷を遠望（夕立神展望台）

昼食は大西公園にて、赤石荘さんのお弁当をいただきました。特製の“ザ・断層弁当”は

断層をイメージした2色ご飯、はさみ揚げ、小石のような豆の天ぷら等、見た目も味も好評でした。

昼食後は昭和36年の崩壊礫保存園で、災害の様子を学びました。続けて、大鹿村の中央構造線沿いで見られる“鹿塩マイロナイト”の特徴を学びました。恐竜がいた中生代白亜紀に高温の地下深くにあった花崗岩や変成岩が、その頃の中央構造線のずれ動きのため壊れず延びるように変形した岩石です。当時の中央構造線の動きのほか、直接見られない断層の深い部分の様子がわかります。

参加者の皆様が早くからうち解けられ、全体的に良い雰囲気でした。事前の連絡が十分にできなかった等、反省点もありますが、終了後のアンケートでは「説明がわかりやすかった」、「スタッフの対応が良かった」等、喜ばしい回答が多く、無事に開催できて本当によかったです。（榊原）